

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2015年9月7日～2015年9月13日】

[当地報道をもとに作成]

平成27年9月18日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### ▼モルドバ政府が「アブハジア共和国」と「南オセチア共和国」代表団の入国を拒否(7日)

・沿ドニエストル共和国の「建国25周年」に因む式典に出席するためにティラスポリを訪問しようとした「アブハジア共和国」代表団(団長:ガブニア「アブハジア共和国副首相」)と「南オセチア共和国」代表団(団長:ツホヴレポフ「南オセチア外相」)が、キシニョフ空港でモルドバ政府により入国を拒否され、10年間の入国を禁止する国外退去処分を受けた。

### 【アブハジア】

### ▼アブハジア・ベネズエラ間の「査証自由化」の可能性に関するジョージア外務省声明(8日)

・アブハジア・ベネズエラ間の「査証自由化」について協議が進められているとの報道に対し、ジョージア外務省は、カラカスとソフミの間のいかなる合意も、「在ベネズエラ・アブハジア大使館」の開設であれ、「駐アブハジア・ベネズエラ大使」の任命・信任であれ、「査証自由化」であれ、そもそも不法なものであり、国際法に照らし法的な効力を持たないとの声明を発表。声明は、ベネズエラがロシアの後を追いつき、国際法の規範の著しい違反を継続し、ジョージアの領土一体性を無視していることは遺憾であると述べている。

## 2. 外 政

### ▼リトアニア外相のジョージア訪問(7日)

・リンケヴィチウス・リトアニア外相がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、クヴィリカシヴィリ外相と会談し、トビリシで開催された国際会議「欧州の新しい地政学的風景」に出席。

・「ク」外相との会談で、「リ」リトアニア外相はジョージアの主権・領土一体性およびEU・NATO加盟に対するリトアニアの支持の継続を改めて確認。両国の貿易・経済協力の発展の重要性が特に強調された。

### ▼米欧州軍司令官の発言(7日)

・トビリシで開催された国際会議で、ホッジス米欧州軍司令官は、「ジョージアとの軍事交流は信頼に基づき、パートナーシップ以上のものである」、「米・ジョージア共同演習への米軍の参加の規模は毎年大きくなっており、我々はジョージアとの演習により多くの兵士を参加させることを望んでいる」と述べた。

### ▼ガリバシヴィリ首相のキルギス訪問(8日)

・「ガ」首相は中国への訪問の途中でビシケクに立ち寄り、

クヴィリカシヴィリ副首相兼外相とともに、アブディルダエフ・キルギス外相と二国間関係と経済協力の発展の展望について会談。双方は近い将来にジョージア・キルギス間の経済協力に関する政府間委員会およびビジネスフォーラムを開催する用意があることを表明。

### ▼ガリバシヴィリ首相の中国訪問(9日-13日)

・「ガ」首相が中国を訪問し、大連で開催された世界経済フォーラムに出席。新シルクロード構想に関するパネルディスカッションでは、ジョージア・中国関係の意義を強調しつつ、ジョージアは中国の一带一路構想を強く支持しており、我々はジョージアを中国や米国その他の国々・企業が投資するロジスティクスのハブにすることを望んでいると述べた。

・「ガ」首相は李克強・中国首相と会談し、二国間の貿易・経済協力の発展、シルクロード構想、トビリシ・シルクロード・フォーラム、AIIB などについて議論。会談後、「ガ」首相は、欧州地域でジョージアは中国が自由貿易に関する協議を始める最初の国になると述べた。

・「ガ」首相は金立群・AIIB 総裁候補とも会談。会談後、金立群・AIIB 総裁候補は、ジョージアは AIIB がプロジェクトを実施する最初の国々の一つになると述べた。

・「ガ」首相と大連市長との会談では、アチャラ自治共和国と大連市との間で協力に関する覚書に署名がなされた。

・「ガ」首相は数多くの企業代表者とも会談。珠海大横琴股份有限公司の代表者との会談ではジョージアのハイウェイ建設プロジェクトについて、POWERCHINA 副社長との会談ではアナクリア港建設プロジェクトについて協議。東風電子科技社長とはトキブリでの火力発電所の建設について協議した。大連では中国の国営機関車製造企業「大連機車車輛」を訪問。同社とジョージアの客車製造企業 VMK がジョージアでの機関車製造の共同ベンチャーの開始に関する覚書に署名した。三菱商事会長とも会談。

・クヴィリカシヴィリ外相は王毅・中国外相と会談。過去11年間で両国外相の初めての会談となった。今後もハイレベルの活発な接触を続けることで合意。

・「ガ」首相はチメド・モンゴル首相と会談。両首相はジョージア・モンゴル両国のビジネスの代表者間の交流やパートナーとしての協力の発展を促進することで合意。

### ▼ヒダシェリ国防相の欧州歴訪(9日-14日)

・「ヒ」国防相はポーランド、ラトビア、エストニア、リトアニアを歴訪。

・シモニャク・ポーランド国防相との会談では、ポーランド側は NATO・ジョージア実質的パッケージを通じた

積極的な協力を約束。「ヒ」国防相は、会談では 2016 年のワルシャワでの NATO 首脳会議の重要性についても議論したとして、欧州の現実の状況とジョージアが今日直面している危機の深刻さを正確に理解せねばならないと述べた。クリニツァで行なわれた国際会議で講演。

・ラトビアではヴェヨニス大統領、ベルグマニス国防相、ラトコフスキス・ラトビア国会国防・国際・汚職防止委員会委員長らと会談。NATO 戦略通信センターや軍事基地を視察。

・エストニアではロイヴァス首相、カリュランド外相、ミクセル国防相、ハンソ次期国防相らと会談。「ミ」エストニア国防相との会談では、ジョージアのサイバー安全保障の分野の発展に対するエストニアの支援などについて議論。会談後、「ヒ」国防相は、「我々は二国間関係のレベルを更に高める用意を確認した。ジョージアはエストニア軍兵士を軍事演習 Agile Spirit 2016 に招待した。エストニアは 2016 年の NATO 首脳会議に向けてジョージアに対する一致した欧州の支持を強化するため積極的に活動する」と述べた。

・リトアニアではグロウジニエネ国会議長、オレカス国防相らと会談。ヴィリニウスで開催された「民主主義フォーラム」で講演。会談で、「オ」リトアニア国防相は「ジョージアのように分裂していたとき、ドイツの NATO 加盟は問題なかった」と述べた。

### 3. 内 政

#### ▼「金融監督局」の設置に関する法改正の発効(10日)

・9月3日に国会が大統領の拒否を覆し再可決した、国立銀行から金融セクターの監督機能を分離する法案にマルグヴェラシヴィリ大統領が署名。大統領府によれば、国会による同法改正の再可決を大統領は「深刻な誤り」であると考えているが、大統領は立法府に対する「敬意から」署名を決めた。

・法改正は同日発効した。1か月以内に金融セクターを監

督する金融監督局が新設される。

### 4. 経 済

#### ▼飛行機部品工場の建設(7日)

・イスラエルの防衛電子機器企業 Elbit Systems 社とジョージア国家投資基金の合弁事業として、トビリシ郊外で民間航空機の部品を製造する工場の建設が開始された。プロジェクトの投資総額は約 8500 万ドル。工場はジョージア国営パートナーシップ基金と Elbit Systems の子会社 Elbit Systems-Cyclone の共同ベンチャー Aero-Structure Technologies が運営する。

#### ▼ブドウの買い取り価格に対する抗議(10日)

・カヘティ地方でブドウの収穫が始まった。グルジアアニでは、政府が設定したブドウの買い取り価格に不満を持つ農民が抗議デモを行なった。ワインの輸出量の減少により、ブドウの価格が前年比約 40~55%安となっているが、農民らはブドウに対する政府の補助金の増額を要求している。

・ダネリア農業相は補助金の増額を否定。民間の工場が買い取らなかったブドウは、国営企業が 1kg あたり 0.6~0.85 ラリで買い取ると述べた。野党は、与党連合がブドウの価格について 1kg あたり最低 1 ラリを約束していたとして批判。

#### ▼2015年上半期の外国直接投資(9日)

・国家統計局の発表によれば、2015 年上半期の外国直接投資は 530 百万ドル(速報値)。前年同期比 4.9%増。対内投資 974 百万ドル、対外投資 444 百万ドル。

・国別の内訳は多い順にアゼルバイジャン 41%、オランダ 17%、トルコ 13%、英国 8.3%、ルクセンブルグ 6.0%、フランス 2.1%、中国 1.5%、カザフスタン 0.8%。

・分野別の内訳は輸送・通信 67%、建設 9%、金融 7%、製造 7%など。